

# トークネット光アダプタ設定変更マニュアル

## (タイプ a2)

1.2 版

TOHKnet

# 1. はじめに

本マニュアルは、トークネット光アダプタ（マニュアルでは「本装置」と記載します。）の設定変更マニュアルとなります。  
本マニュアルに記載のない、その他詳細な設定項目などは、  
ヤマハ株式会社のウェブサイト（<http://jp.yamaha.com/products/network/routers/nvr500/>）をご覧ください。

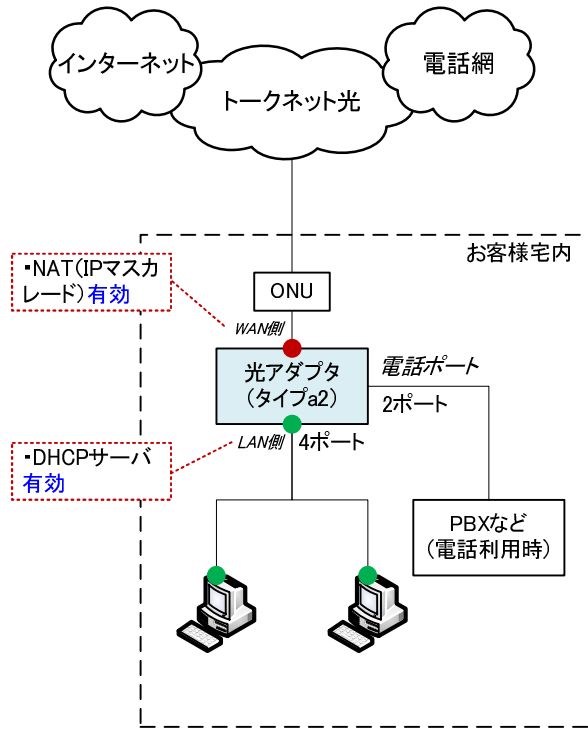
## 注意事項

トークネット光アダプタの設定変更を行う場合は、お客さまの責任において実施をお願いします。  
トークネット光アダプタの設定変更を行う場合は、お客さまご自身で設定ファイルのバックアップを取得してから実施してください。  
お客さまがバックアップを行わなかったことによる損害については、当社は一切の責任を負いません。  
お客さまの設定変更により不具合が発生し、トークネット光アダプタの復旧対応を当社にて行う場合は、有料となります。なお、お客さまにて設定を行った内容は消去されます。  
2018年12月1日以降にお申込みいただいたお客さまについては、お客さまご自身の設定変更は出来ません。設定変更を希望される場合は、別途当社へ設定変更のお申込みが必要となります。

# 2. 接続構成について

本装置では、インターネット接続（データ通信）および電話接続（音声通話）が可能であり、トークネット光を利用することで2つの接続を利用することができます。以下に、本装置の接続構成例を示します。

【接続構成例】



IPアドレスの説明

- グローバルIPアドレス
- プライベートIPアドレス

### 3 . 設定変更の流れ

本装置の設定変更は、以下の流れで実施します。

#### ① 設定変更の準備

- ・本装置にネットワーク接続

→ トークネット光アダプタ接続マニュアル

#### ② 装置へのログイン

- ・本装置にWEBブラウザを使用してログイン

→ p3

#### ③ 装置の設定変更

- ・インターネット関連の設定変更
- ・電話関連の設定変更

※設定変更前に、バックアップを取得しておくことを推奨します。

→ p4

#### ④ 装置設定の保守

- ・機器故障時などに備えて設定をバックアップ
- ・変更前の装置設定に戻す (リストア) ※

※変更前の設定に戻す場合のみ実施

→ p26

## 4. 装置へのログイン

本装置の設定内容を変更するため、本装置へログインします。

(1)本装置に接続する URL を入力

(2)ユーザ名とパスワードを入力  
( 開通通知書を参照ください)

(3)OK ボタンをクリック

(4)トップページが表示

### 【操作手順】

- ( 1 ) 本装置に接続したパソコンにて WEB ブラウザを立ち上げ、以下の URL ページに接続します。  
【URL】 http://192.168.0.200 ( LAN 側アドレス初期値 )
- ( 2 ) ログイン認証画面が表示されますので、ユーザ名およびパスワードを入力します。
- ( 3 ) OK をクリック後、正しい情報が入力されていれば、設定画面のトップページが表示されます。

## 5 . 装置の設定変更

本装置の設定変更について、次章以降に変更例を示します。

### 注意事項

変更内容については、事前に十分検討した後に実施してください。  
また、各設定項目の詳細は、別途取扱説明書をご覧ください。

### 【変更例一覧】

#### インターネット関連

- ・ LAN 側 IP アドレスを変更する .....p5
  - ・ LAN 側ルーティング設定を変更する
  - ・ パケットフィルタ設定を変更する
  - ・ 静的 NAT ( IP マスカレード ) 設定を変更する
- } コマンド投入で設定  
を変更します。 .....p19

#### 電話関連

- ・ ポートの使用状態を変更する .....p7
- ・ 発信者番号表示機能 ( ナンバーディスプレイ ) を使用する .....p9
- ・ ダイヤルインを使用する .....p11
- ・ 着信ポートを変更する .....p13
- ・ 音声レベルを調整する .....p15 , 17

## 5.1 . 装置の設定変更例（インターネット関連）

### 5.1.1.LAN 側 IP アドレスを変更する

本装置の LAN 側 IP アドレスを変更します。

(1) 『詳細設定と情報』をクリック

(2) 『LAN の設定 ( IP アドレス、DHCP サーバ )』をクリック

(3) 変更後の「LAN 側 IP アドレス」と「サブネットマスク長」を入力

(4) DHCP の設定も合わせて変更する場合は左記のパラメータも入力

(5) 『設定の確定』をクリック

項目	設定値
プライマリ・IP アドレス	192.168.0.200 (255.255.255.0 (24ビット))
セカンダリ・IP アドレス	255.255.255.0 (24ビット)
DHCP サーバ機能	<input checked="" type="checkbox"/> DHCP サーバ機能を使用する
LAN 番号	1
IP アドレスの割り当て範囲	192.168.0.201 ~ 192.168.0.250
ネットマスクビット数	255.255.255.0 (24ビット)
スコープの制御	<input type="checkbox"/>

#### 【設定変更手順】

- ( 1 ) トップページから、『詳細設定と情報』をクリックします。
- ( 2 ) 詳細設定と情報ページから、「LAN の設定 ( IP アドレス、DHCP サーバ )」欄の『設定』をクリックします。
- ( 3 ) 「LAN の設定」画面が表示されるので、「LAN ポートの IP アドレス設定」の「プライマリ・IP アドレス」項目に、変更後の「LAN 側 IP アドレス」と「サブネットマスク長」を入力します。
- ( 4 ) 合わせて DHCP の設定も変更する場合は「DHCP サーバ機能」の各項目に値を入力します。
- ( 5 ) 全てのパラメータを入力後、『設定の確定』ボタンをクリックします。

#### 【注意事項】

LAN 側 IP アドレスを変更した場合は、再起動後の画面が表示されない可能性があります。変更した IP アドレスに合わせてパソコン側の IP アドレスも変更をお願いします。( DHCP を利用している場合は、ケーブル抜差しあるいは PC 再起動などで IP アドレス再取得をお願いします。)

#### 【主な設定項目】

##### ・LAN ポートの IP アドレス設定

設定項目	説明	初期値
プライマリ・IP アドレス	LAN ポートのプライマリ IP アドレスを設定します。	192.168.0.200 255.255.255.0 ( 24 ビット)

##### ・DHCP サーバ機能

設定項目	説明	初期値
識別番号	DHCP 払い出し範囲設定の識別番号。基本は"1"を設定します。	1
DHCP サーバ機能を使用する	LAN 側への DHCP による自動払い出しの使用/未使用を選択します。	使用する ( チェックあり)
IP アドレスの割当て範囲	払い出す IP アドレスの範囲を設定します。	192.168.0.201 ~ 192.168.0.250
ネットマスクビット数	払い出すネットマスクを設定します。	255.255.255.0 ( 24 ビット)



## 5.2 . 装置の設定変更例（電話関連）

### 5.2.1. ポートの使用状態を変更する

TEL ポートの使用、未使用を変更します。

The image shows a sequence of five screenshots from the Net Volante web interface, illustrating the steps to change the usage status of a TEL port. Red dashed boxes and arrows highlight the specific actions and settings.

- (1) 『電話の設定』をクリック**: The first screenshot shows the main menu with the '電話の設定' (Phone Settings) button highlighted.
- (2) 『TEL の共通設定』欄の『設定』ボタンをクリック**: The second screenshot shows the '電話の設定' page with the 'TEL の共通設定' (TEL Common Settings) section highlighted, and its '設定' (Settings) button clicked.
- (3) 『基本設定』欄の『設定』ボタンをクリック**: The third screenshot shows the 'TEL の共通設定' page with the '基本設定' (Basic Settings) section highlighted, and its '設定' (Settings) button clicked.
- (4) 『使用制限』 「VoIP」欄の設定を変更する。 「発信、着信で使用」 …使用 「未使用」 …未使用**: The fourth screenshot shows the '基本設定 (TEL 1ポート)' page. A callout box indicates 'TEL ポート毎に枠あり' (There is a limit per TEL port). The '使用制限' (Usage Limit) section is highlighted, showing the 'VoIP' dropdown menu set to '発信、着信で使用' (Use for outgoing and incoming calls). Other options include '未使用' (Not used).
- (5) 『設定の確定』ボタンをクリック**: The fifth screenshot shows the '設定の確定' (Confirm Settings) button at the bottom of the page.

Additional annotations include '下にスクロール' (Scroll down) pointing to the bottom of the settings page, and 'トップへ戻る' (Return to top) button visible in the interface.

#### 【設定変更手順】

- ( 1 ) トップページから、『電話の設定』をクリックします。
- ( 2 ) 電話の設定ページから、「TEL の共通設定」欄の『設定』をクリックします。
- ( 3 ) TEL の共通設定ページから、「基本設定」欄の『設定』をクリックします。
- ( 4 ) 基本設定（TEL1 ポート）枠の「使用制限」「VoIP」欄の設定を変更します。  
( 下スクロールすると、基本設定（TEL2 ポート）枠があり、同様の設定項目があります。 )
- ( 5 ) 全ての設定を変更後、『設定の確定』ボタンをクリックします。

#### 【主な設定項目】

・電話の設定 - TEL の共通設定 - 基本設定

設定項目	説明	備考
使用制限 : VoIP	TEL ポートの使用 / 未使用を変更します。	

## 5.2.2. 発信者番号表示機能（ナンバーディスプレイ）を使用する

TEL ポート毎に発信者番号表示（ナンバーディスプレイ）の使用、未使用を変更します。

(1) 『電話の設定』をクリック

(2) 『TEL の共通設定』欄の『設定』ボタンをクリック

(3) 『その他の設定』欄の『設定』ボタンをクリック

(4) 『ナンバー・ディスプレイ対応機器の接続』の設定を変更する。  
使用する or 使用しない

(5) 『設定の確定』ボタンをクリック

設定項目	設定ボタン
TELの共通設定	設定
ISDN電話の設定	設定
アナログ回線の設定	設定
VoIPの設定	設定

設定項目	設定
ナンバーディスプレイ対応機器の接続	使用しない
番号による即時発信	<input type="radio"/> しない <input checked="" type="radio"/> する
ダイヤル終了から発信までの時間	4 秒
フッキングとオフフックを区別するための判定時間	1 秒
オフフック時のフック検出無効時間	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり 0 秒
疑似切断信号の出力	<input type="radio"/> しない <input checked="" type="radio"/> する

【設定変更手順】

- ( 1 ) トップページから、『電話の設定』をクリックします。
- ( 2 ) 電話の設定ページから、「TEL の共通設定」欄の『設定』をクリックします。
- ( 3 ) TEL の共通設定ページから、「その他の設定」欄の『設定』をクリックします。
- ( 4 ) その他の設定ページから、変更したい TEL ポートの「ナンバー・ディスプレイ対応機器の接続」の設定を変更します。
- ( 5 ) 全ての変更内容を設定後、『設定保存』ボタンをクリックします。

【主な設定項目】

・電話の設定 – TEL の共通設定 – その他の設定

設定項目	説明	備考
ナンバー・ディスプレイ対応機器の接続	ナンバーディスプレイの使用 / 未使用を変更する。	

### 5.2.3.ダイヤルインを使用する

FXSポート毎にダイヤルインの使用、未使用を変更します。ダイヤルインを使用する場合は、その方式を選択します。  
 なお、ダイヤルイン方式を「PB」にしている場合は、ナンバーディスプレイを使用できません。

(1) 『電話の設定』をクリック

(2) 『TEL の共通設定』欄の『設定』ボタンをクリック

(3) 『基本設定』欄の『設定』ボタンをクリック

TELポート毎に枠あり

(4) 『ダイヤルイン/FAX 無鳴動着信』、『VoIP』欄の『ダイヤルイン/FAX 無鳴動着信の登録』をクリック

新規登録の場合

既存設定変更の場合

(5) ダイヤルイン方式など、各設定を入力

(6) 『設定の確定』ボタンをクリック

(5) 既存設定の『削除』にチェックを入れ、『設定の確定』をクリック

#### 【設定変更手順】

- ( 1 ) トップページから、『電話の設定』をクリックします。
- ( 2 ) 電話の設定ページから、「TEL の共通設定」欄の『設定』をクリックします。
- ( 3 ) TEL の共通設定ページから、「基本設定」欄の『設定』をクリックします。
- ( 4 ) 基本設定 ( TEL1 ポート ) 枠の「ダイヤルイン/FAX 無鳴動着信」 「VoIP」欄の「ダイヤルイン/FAX 無鳴動着信の登録」をクリックします。
- ( 5 ) ダイヤルインの新規登録の場合は、「TELX ポートのダイヤルイン/FAX 無鳴動着信」画面にて、下表のダイヤルインの設定を入力します。
- ( 5 ) 既存のダイヤルイン設定を変更する場合は、一度「lastdigit」欄の設定を削除してから、再度新規登録と同じように設定します。
- ( 6 ) 全ての設定を変更後、『設定の確定』ボタンをクリックします。
- ( 7 ) TEL2 ポートも同様に設定します。( 下にスクロールすると、基本設定 ( TEL2 ポート ) 枠があり、同様の設定項目があります。 )

#### 【主な設定項目】

・電話の設定 - TEL の共通設定 - 基本設定 - TELX ポートのダイヤルイン/FAX 無鳴動着信

設定項目	説明	備考
電話ユーザ名またはsipアドレス	必ず「lastdigit」を選択します。	
サービス種別	ダイヤルイン方式を選択します。 [PB ダイヤルイン][モデムダイヤルイン]	
ダイヤルイン時の出力番号	ダイヤルイン番号出力桁数を入力します。 ( PB ダイヤルインは 4 桁まで )	

## 5.2.4. 着信ポートを変更する

電話番号毎に着信させるポートを変更します。

ここでは、TEL ポートに着信させる電話番号を指定することで着信ポートを変更します。

(1) 『電話の設定』をクリック

(2) 「TEL の共通設定」欄の『設定』ボタンをクリック

(3) 「基本設定」欄の『設定』ボタンをクリック

(4) 「識別着信」「VoIP」欄に対象ポートに着信させる電話番号を制限するかどうかを選択する。  
『以下の条件に一致した場合のみ許可』を選択した場合は、必ず『自己 SIP アドレス』にチェックを入れ、(5)以降を実施すること。  
『全て許可』を選択した場合は、(8)を実施すること。

(5) 「番号設定」「VoIP」欄の『自己SIPアドレスの登録』をクリック

(6) 『着信 SIP アドレス～』の欄に対象ポートへ着信させたい電話番号を入力

(7) 『設定の確定』ボタンをクリック

項目	値
電話ユーザー名(発信、着信で使用)	slp: nr500
着信SIPアドレス 1 (着信専用)	slp:
着信SIPアドレス 2 (着信専用)	slp:
着信SIPアドレス 3 (着信専用)	slp:

#### 【設定変更手順】

- ( 1 ) トップページから、『電話の設定』をクリックします。
- ( 2 ) 電話の設定ページから、「TELの共通設定」欄の『設定』をクリックします。
- ( 3 ) TELの共通設定ページから、「基本設定」欄の『設定』をクリックします。
- ( 4 ) 基本設定（TELXポート）枠の「識別着信」「VoIP」欄の設定を変更します。『以下の条件に一致した場合のみ許可』を選択した場合は、必ず『自己 SIP アドレス』にチェックを入れ、(5)以降を実施します。『全て許可』を選択した場合は、(8)以降を実施します。
- ( 5 ) 基本設定（TELXポート）枠の「番号設定」「VoIP」欄の『自己 SIP アドレスの登録』をクリックします。
- ( 6 ) TELXポートの自己 SIP アドレスの設定ページから、「着信 SIP アドレス 1 (着信専用)」～「着信 SIP アドレス 3 (着信専用)」の欄に、対象 TEL ポートへ着信させたい電話番号を入力します。
- ( 7 ) 全ての電話番号を入力後、『設定の確定』ボタンをクリックします。
- ( 8 ) 基本設定（TELXポート）ページに戻りますので、すべての TEL ポートの設定が完了後、ページ最下部の『設定の確定』ボタンをクリックします。

#### 【主な設定項目】

##### 電話の設定 - TELの共通設定 - 基本設定

設定項目		説明	備考
番号設定	VoIP	着信ポート分けをしていた場合に、着信させる電話番号を登録します。 3 番号まで登録可能。4 番号以上登録する際は、「コマンドの実行」ページで設定すること。（5.3.5 項を参照）	
識別着信	VoIP	着信させる電話番号を制限するかどうかの識別着信を設定します。 [全て許可][以下の条件に一致した場合のみ許可] “以下の条件に一致した場合のみ許可”では、必ず「自己 SIP アドレス」にのみチェックをつけること。	



## 5.2.5. 音声レベルを調整する（方法1）

本装置を通過する通話の音声レベルを変更します。ここでは VoIP 設定での変更方法を説明します。  
この方法で対象 TEL ポートの RTP 音声のレベル調整をします。

Net Volante YAMAHA NVR500 [Rev.11.00.25 Tue Nov 11 14:23:33 2014] ログアウト ヘルプ

新しくプロバイダの設定を行ったり、修正したりします。 プロバイダ情報

電話、VoIPの設定を行ったり、変更したりします。 **電話の設定**

ヤマハスイッチの設定を行ったり、変更したりします。 スイッチ制御

より詳細な設定を行ったり、本製品の通信記録を参照したりします。 詳細設定と情報

**電話の設定** ヘルプ

[トップ] > [電話の設定]

TELの共通設定	設定
ISDN電話の設定	設定
アナログ回線の設定	設定
VoIPの設定	設定

**電話の設定** VoIPの設定 ヘルプ

[トップ] > [電話の設定] > [VoIPの設定]

**VoIPの設定**

VoIPの基本設定 設定

**電話の設定** VoIPの基本設定 ヘルプ

[トップ] > [電話の設定] > [VoIPの設定] > [VoIPの基本設定]

**基本設定(NetVolanteインターネット電話、IP電話機能)**

VoIP機能  使用しない  使用する

接続プロバイダ なし

QoS  QoSを行わない

VoIPを優先する/送信帯域を制限する

送信帯域の制限 上り速度 64k または 128kbit/s (ISDN など) (上り速度が 100Mbit/s の場合は設定できません。)

**基本設定(TEL 1ポート)**

電話ディスプレイ (半角)

音量レベル 話す中 聞く中

**基本設定(TEL 2ポート)**

電話ディスプレイ (半角)

音量レベル 話す中 聞く中

設定の確定

(1) 『電話の設定』をクリック

(2) 『TEL の設定』欄の『設定』ボタンをクリック

(3) 『VoIPの基本設定』欄の『設定』ボタンをクリック

(4) 各 TEL ポートの『音量レベル』欄の『話す』『聞く』の設定を変更して音声レベルを調整。

(5) 『設定の確定』ボタンをクリック

【設定変更手順】

- ( 1 ) トップページから、『電話の設定』をクリックします。
- ( 2 ) 電話の設定ページから、『VoIP の設定』欄の『設定』をクリックします。
- ( 3 ) VoIP の設定ページから、『VoIP の基本設定』欄の『設定』をクリックします。
- ( 4 ) 基本設定 (TELX ポート) 枠の『音量レベル』欄の『話す』および『聞く』の設定を変更します。
- ( 5 ) 全ての設定を変更後、ページ最下部の『設定の確定』ボタンをクリックします。

【主な設定項目】

電話の設定 –VoIP の設定 – VoIP の基本設定

設定項目	説明	備考
音量レベル	通話の音量レベルを調整します。 「話す」… 本装置 電話装置方向の音量レベル 「聞く」… 本装置 電話装置方向の音量レベル  [最大][大][中][小][最小]	

## 5.2.6. 音声レベルを調整する（方法2）

本装置を通過する通話の音声レベルを変更します。ここでは TEL の共通設定での変更方法を説明します。  
この方法で対象 TEL ポートの音声のレベル調整をします。

(1) 『電話の設定』をクリック

(2) 『TEL の共通設定』欄の『設定』ボタンをクリック

(3) 『基本設定』欄の『設定』ボタンをクリック

(4) 各 TEL ポートの『音量レベル』欄の『話す』『聞く』の設定を変更して音声レベルを調整。

下にスクロール

(5) 『設定の確定』ボタンをクリック

【設定変更手順】

- ( 1 ) トップページから、『電話の設定』をクリックします。
- ( 2 ) 電話の設定ページから、「TEL の共通設定」欄の『設定』をクリックします。
- ( 3 ) TEL の共通設定ページから、「基本設定」欄の『設定』をクリックします。
- ( 4 ) 基本設定 ( TELX ポート ) 枠の「音量レベル」欄の「話す」および「聞く」の設定を変更します。
- ( 5 ) 全ての設定を変更後、ページ最下部の『設定の確定』ボタンをクリックします。

【主な設定項目】

電話の設定 - TEL の共通設定 - 基本設定

設定項目	説明	備考
音量レベル	通話の音量レベルを調整します。 「話す」… 本装置 電話装置方向の音量レベル 「聞く」… 本装置 電話装置方向の音量レベル  [最大][大][中][小][最小]	

## 5.3 . コマンド投入で設定変更

### 5.3.1. 設定コマンドを投入する

設定コマンドの投入は、「コマンドの実行」画面から行ないます。

コマンドを投入して設定を変更することで、次項以降の設定を変更できます。

The image shows a sequence of steps in the Net Volante NVR500 web interface:

- (1) 『詳細設定と情報』をクリック**: A red arrow points to the '詳細設定と情報' button in the main menu.
- (2) 「コマンドの実行」欄の『実行』ボタンをクリック**: A red arrow points to the '実行' button in the 'コマンドの実行' section of the '詳細設定と情報' page.
- (3) 投入する設定コマンドをテキストエリアに入力。**: A red dashed box highlights the text input area in the 'コマンドの実行' sub-page.
- (4) 『設定の確定』ボタンをクリック**: A red arrow points to the '設定の確定' button at the bottom of the 'コマンドの実行' sub-page.

Additional annotations include '下にスクロール' (scroll down) pointing to the bottom of the '詳細設定と情報' page, and 'ログアウト ヘルプ' (Logout Help) links in the top right of the main menu.

#### 【操作手順】

- ( 1 ) トップページから、『詳細設定と情報』をクリックします。
- ( 2 ) 詳細設定と情報ページから、『コマンドの実行』をクリックします。
- ( 3 ) 「コマンドの実行」画面が表示されるので、テキストエリアに設定コマンドを入力します。  
設定コマンドの詳細は、次項以降を参照してください。
- ( 4 ) 全てのコマンドを入力後、『設定の確定』ボタンをクリックします。

#### 【コマンド投入による変更例一覧】

##### インターネット関連

- ・ LAN 側ルーティング設定を変更する .....p21
- ・ パケットフィルタ設定を変更する .....p22
- ・ 静的 NAT ( IP マスカレード ) 設定を変更する .....p23

##### 電話関連

- ・ 着信ポートを変更する ( コマンド投入 ) .....p24

### 5.3.2.LAN 側ルーティング設定を変更する

「ip route」コマンドで LAN 側ルーティングの設定をします。

「コマンドの投入」画面の表示方法は、5.3.1 項を参照ください。

コマンド	備考
ip route <u>宛先ネットワーク</u> / <u>サブネットマスク</u> gateway <u>ゲートウェイ</u>	デフォルトルート他の初期設定値は変更、削除をしないでください。
・ <u>宛先ネットワーク</u> ... 宛先ネットワークアドレス	
・ <u>サブネットマスク</u> ... マスクビット数 ( ~ 32 )	
・ <u>ゲートウェイ</u> ... ネクストホップアドレス	

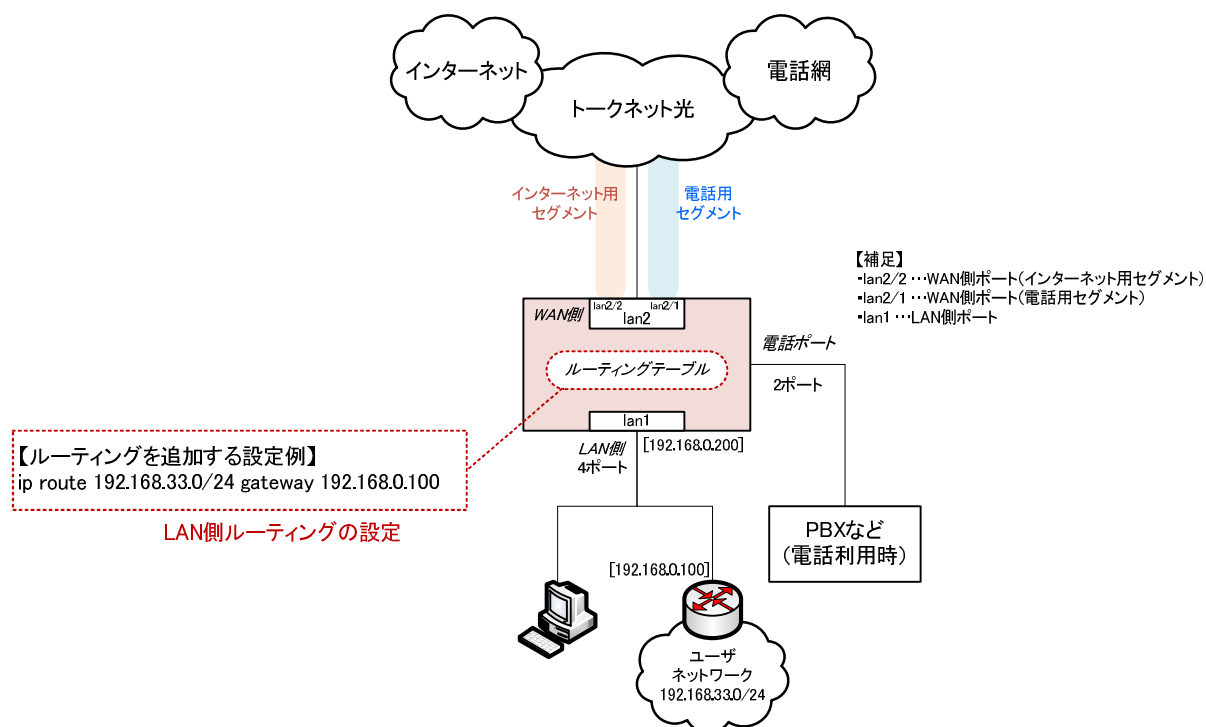


図 LAN 側ルーティング設定コマンド適用イメージ

#### 補足・注意事項

- ・設定の削除は、対象コマンドの先頭に「no」を付けて、設定の変更と同じように投入してください。
- ・投入した設定および既存の設定は、「詳細設定と情報」画面で確認できます。  
(「6.1.装置設定のバックアップ」ページを参照してください)
- ・投入コマンドの詳細については、別途取扱説明書を参照願います。
- ・本資料記載以外のコマンドの投入はサポート外です。お客様で確認して実施してください。

### 5.3.3. パケットフィルタ設定を変更する

「ip filter」コマンドでフィルタを定義し、「ip lan2/2 secure filter」コマンドで定義したフィルタを設定します。

「コマンドの投入」画面の表示方法は、5.3.1 項を参照ください。

コマンド	備考
ip filter <u>フィルタ番号</u> <u>フィルタ動作</u> <u>送信元アドレス</u> <u>宛先アドレス</u> <u>プロトコル</u> <u>送信元ポート番号</u> <u>宛先ポート番号</u>	初期設定値はフィルタ番号 "999000" ~ "999999" で登録されています。変更・削除をしないでください。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>フィルタ番号</u>... 静的フィルタ番号 (1 ~ 21474836 の数値) 設定を複数登録する場合はフィルタ番号を分けて投入すること。</li> <li>・<u>フィルタ動作</u>... 通過もしくは拒否の選択 (pass, reject など)</li> <li>・<u>送信元アドレス</u>, <u>宛先アドレス</u>... パケットの送信元および宛先 IP アドレス</li> <li>・<u>プロトコル</u>... 適用するプロトコル (tcp, udp など)</li> <li>・<u>送信元ポート番号</u>, <u>宛先ポート番号</u>... パケットの送信元および宛先ポート番号</li> </ul>	
ip lan2/2 secure filter <u>適用方向</u> <u>フィルタ番号 1</u> <u>フィルタ番号 2</u> ...	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>適用方向</u>... フィルタを適用させる方向(in,out)</li> <li>・<u>フィルタ番号 X</u>... 「ip filter」コマンドで設定した静的フィルタ番号 (1 ~ 21474836 の数値) フィルタ番号は、空白で区切ることで複数登録可</li> </ul>	

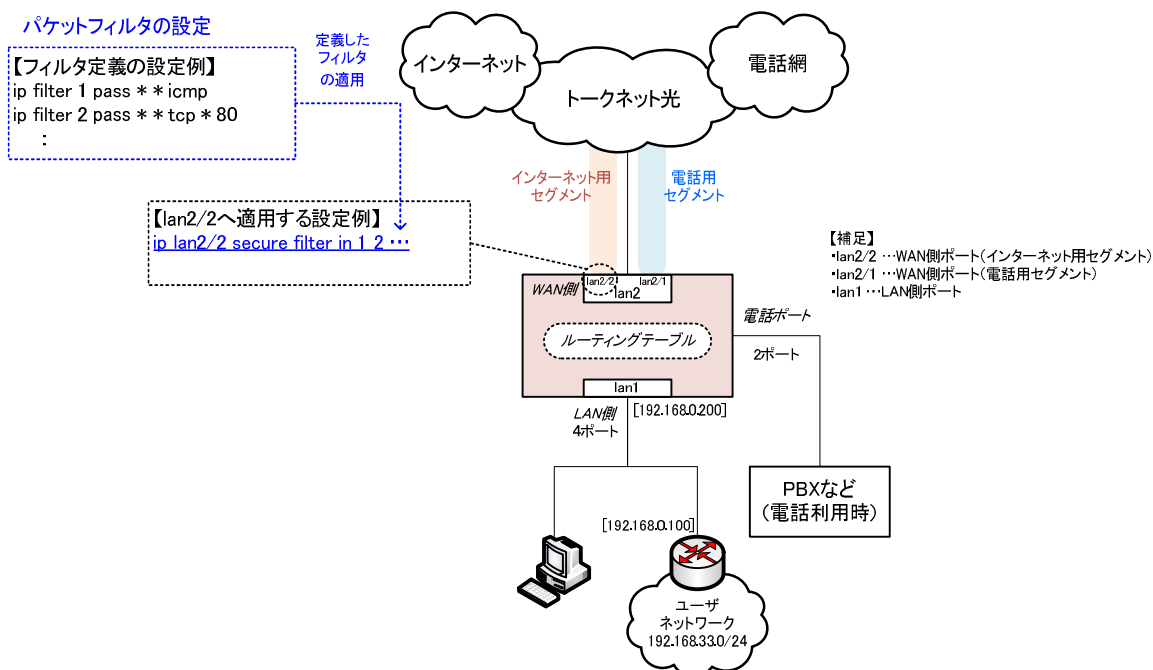


図 パケットフィルタ設定コマンド適用イメージ

#### 補足・注意事項

- ・設定の削除は、対象コマンドの先頭に「no」を付けて、設定の変更と同じように投入してください。
- ・投入した設定および既存の設定は、「詳細設定と情報」画面で確認できます。  
(「6.1.装置設定のバックアップ」ページを参照してください)
- ・投入コマンドの詳細については、別途取扱説明書を参照願います。
- ・本資料記載以外のコマンドの投入はサポート外です。お客様で確認して実施してください。



### 5.3.4. 静的 NAT ( IP マスカレード ) 設定を変更する

「nat descriptor masquerade static」コマンドで静的 NAT ( IP マスカレード ) の設定をします。

初期設定では、NAT ディスクリプタ「20」が lan2/2 に対応しております。

「コマンドの投入」画面の表示方法は、5.3.1 項を参照ください。

コマンド	備考
nat descriptor masquerade static <u>NAT ディスクリプタ</u> <u>エントリ番号</u> <u>LAN 側 IP アドレス</u> <u>プロトコル</u> <u>外側ポート番号</u> = <u>内側ポート番号</u>	初期設定値はエントリ番号 "999000" ~ "999999" で登録されております。変更・削除をしないでください。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>NAT ディスクリプタ</u>... NAT のポリシー番号。必ず「20」を指定。</li> <li>・<u>エントリ番号</u>... 登録エントリ番号 ( 1 以上の数値 ) 。 設定を複数登録する場合はエントリ番号を分けて投入すること。</li> <li>・<u>LAN 側 IP アドレス</u>... LAN 側の IP アドレス</li> <li>・<u>プロトコル</u>... 適用するプロトコル ( tcp,udp など )</li> <li>・<u>外側ポート番号</u>... WAN 側で受信するポート番号</li> <li>・<u>内側ポート番号</u>... 変換先ポート番号</li> </ul>	

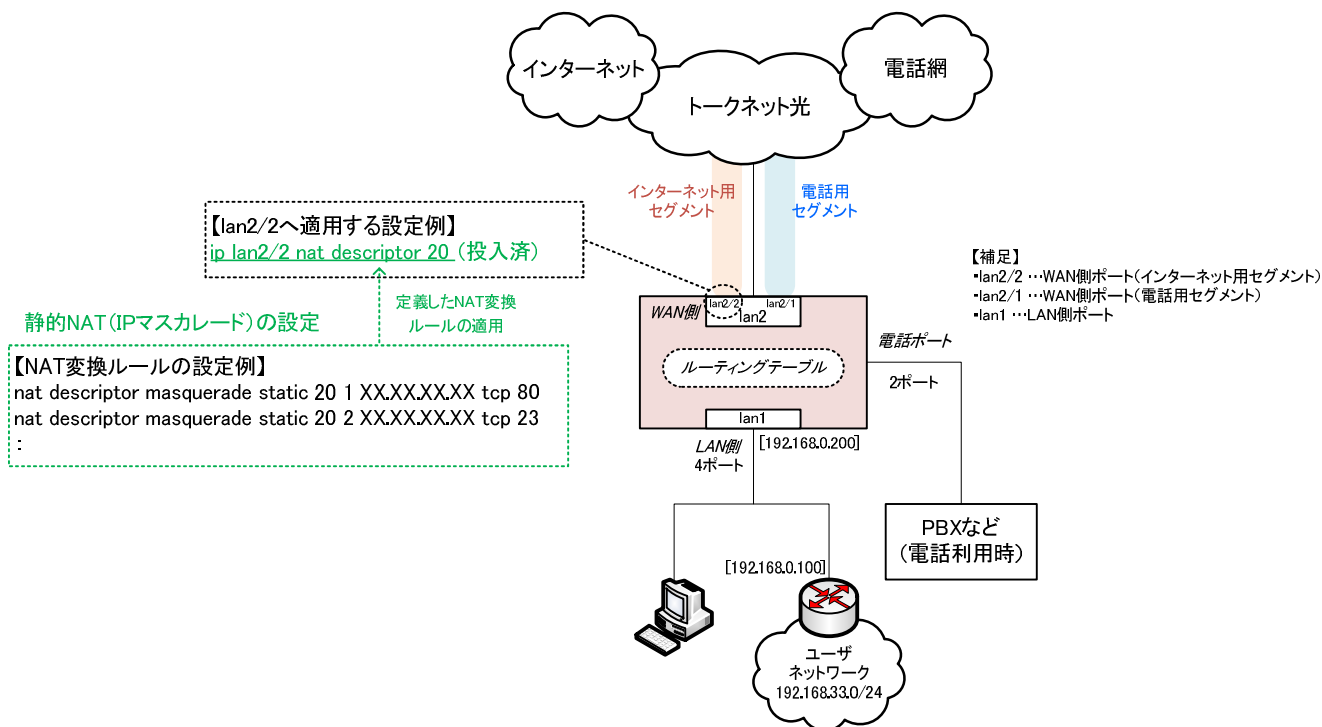


図 設定コマンド適用イメージ

#### 補足・注意事項

- ・設定の削除は、対象コマンドの先頭に「no」を付けて、設定の変更と同じように投入してください。
- ・投入した設定および既存の設定は、「詳細設定と情報」画面で確認できます。  
(「6.1. 装置設定のバックアップ」ページを参照してください)
- ・投入コマンドの詳細については、別途取扱説明書を参照願います。
- ・本資料記載以外のコマンドの投入はサポート外です。お客様で確認して実施してください。

### 5.3.5. 着信ポートを変更する（コマンド投入）

「analog sip arrive myaddress」コマンドで電話番号毎に着信させるポートを変更します。

「コマンドの投入」画面の表示方法は、5.3.1 項を参照ください。

コマンド	備考
analog sip arrive myaddress <u>TELポート</u> <u>エントリー番号</u> sip:<着番>	
・ <u>TELポート</u> ... 着信先の TEL ポート ・ <u>エントリー番号</u> ... 登録エントリー番号（1 以上の数値）。 設定を複数登録する場合はエントリー番号を分けて投入すること。 ・<着番>... 対象の TEL ポートに着信させる電話番号	

#### 【着信ポートの変更方法】

・既存のコマンドを削除後、変更先の TEL ポートを指定して同じ電話番号を登録します。

例）電話番号「0123456789」の着信先を TEL1 ポートから TEL2 ポートに変更する。（エントリー番号は 5 とする）

```
no analog sip arrive myaddress 1 5 sip:0123456789
```

```
analog sip arrive myaddress 2 5 sip:0123456789
```

#### 補足・注意事項

- ・設定の削除は、対象コマンドの先頭に「no」を付けて、設定の変更と同じように投入してください。
- ・投入した設定および既存の設定は、「詳細設定と情報」画面で確認できます。  
（「6.1.装置設定のバックアップ」ページを参照してください）
- ・投入コマンドの詳細については、別途取扱説明書を参照願います。
- ・本資料記載以外のコマンドの投入はサポート外です。お客様で確認して実施してください。

## 6. 装置設定の保守

### 6.1. 装置設定のバックアップ

装置設定のバックアップを行ないます。バックアップは設定ファイルとして出力されますので、大切に保管ください。

(1) 『詳細設定と情報』をクリック

下にスクロール

(2) 「本製品の全設定(config)のレポート作成」欄の『実行』ボタンをクリック

(3) 枠内の全設定内容をコピーし、メモ帳などに張り付けて保存

#### 【操作手順】

- (1) トップページから、『詳細設定と情報』をクリックします。
- (2) 詳細設定と情報ページから、「本製品の全設定(config)のレポート作成」欄の『実行』ボタンをクリックします。
- (3) 「詳細設定と情報」画面が表示されるので、枠内の全設定内容をコピーし、メモ帳などのソフトウェアに張り付けて保存します。

## 6.2 . 装置設定のリストア

装置設定のリストア（復元）を行ないます。リストアに使用するファイルは、必ず本装置でバックアップしたファイルを使用してください。リストアの際は必ず本装置の再起動が実行されます。

Net Volante  
NVR500 [Rev.11.00.25 Tue Nov.11.14:23:33 2014] ログアウト ヘルプ

新しくプロバイダの設定を行ったり、修正したりします。

電話、VoIPの設定を行ったり、変更したりします。

ヤマハスイッチの設定を行ったり、変更したりします。

より詳細な設定を行ったり、本製品の通信記録を参照したりします。

プロバイダ接続 プロバ  
インターネットの  
設定・状態

詳細設定と情報 ヘルプ

基本設定・VPN設定・LAN間接続の設定

基本接続の詳細な設定	<input type="button" value="設定"/>
VPN接続の設定	<input type="button" value="設定"/>
自動接続先/複数プロバイダ接続の設定	<input type="button" value="設定"/>

その他の設定

ネットボランチDNSホストアドレスサービスの設定	<input type="button" value="設定"/>
ファイアウォール設定	<input type="button" value="設定"/>

本体の設定(日付・時刻、ブザー)

ユーザとアクセス制限の設定(HTTP, TELNET, SSH)

外部デバイスの設定

ファイル共有/同期の設定

DOWNLOADボタンの設定

レポートの作成・コマンド実行・初期化

料金情報の表示	<input type="button" value="実行"/>
通信履歴のレポート作成	<input type="button" value="実行"/>
本製品の全設定(Config)のレポート作成	<input type="button" value="実行"/>
本製品のログ(System)のレポート作成	<input type="button" value="実行"/>
システム情報のレポート作成	<input type="button" value="実行"/>
コマンドの実行	<input type="button" value="実行"/>
設定ファイル・ファームウェアファイルのコピー	<input type="button" value="実行"/>
ファイル共有の再起動/ファイル同期の実行	<input type="button" value="実行"/>
リビジョンアップの実行	<input type="button" value="実行"/>
お買い上げ頂いた時の状態へ戻す	<input type="button" value="実行"/>

下にスクロール

詳細設定と情報 お買い上げ頂いた時の状態へ戻す ヘルプ

本製品をお買い上げ頂いた時の状態(工場出荷状態)に戻します

戻る トップへ戻す

(1) 『詳細設定と情報』をクリック

(2) 『お買い上げ頂いた時の状態へ戻す』欄の『実行』ボタンをクリック

(3) 『実行』ボタンをクリック

次ページ

[トップ] > [詳細設定と情報] > [お買い上げ頂いた時の状態へ戻す]

本製品をお買い上げ頂いた時の状態(工場出荷状態)に戻します。  
工場出荷状態に戻すと、現在の設定は全て削除されます。  
よろしいですか?

実行

(4) 『実行』ボタン  
をクリック

注意

操作 PC の IP アドレスを固定で設定している場合は、  
本装置の「192.168.100.1/24」のアドレスと通信で  
できるように PC の IP アドレスを設定してください。  
「自動取得 ( DHCP 有効 )」の場合は、PC の設定変  
更なく操作できます。

[トップ] > [詳細設定と情報] > [お買い上げ頂いた時の状態へ戻す]

LEDの点滅を確認し、起動後に再度アクセスしてください。  
工場出荷状態時の本製品のIPアドレスは『192.168.100.1/24』です。

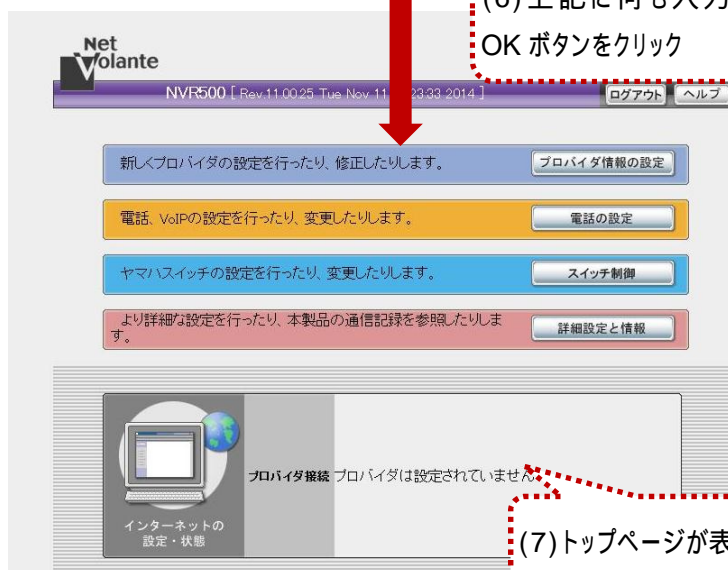
LED の点滅を確認し、起動後  
に再度アクセスすること。



(5) 本装置に接続する URL を入力  
URL... 「http://192.168.100.1」

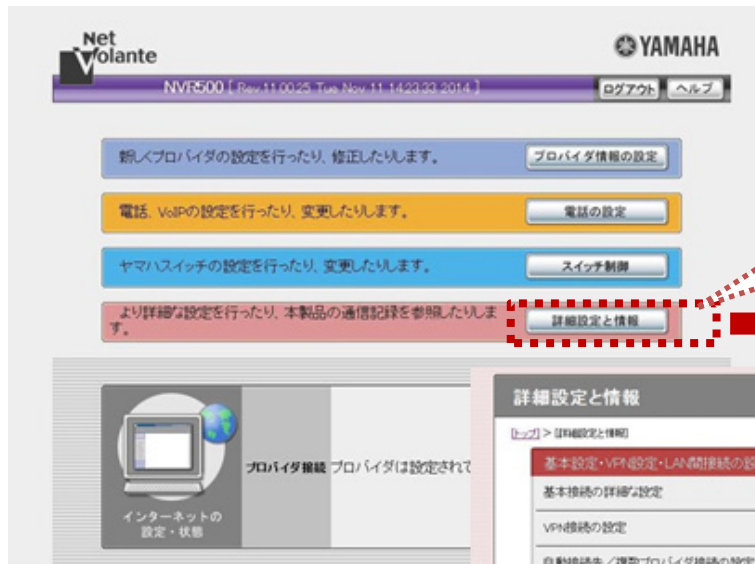


(6) 上記に何も入力せず、  
OK ボタンをクリック



(7) トップページが表示

次ページ



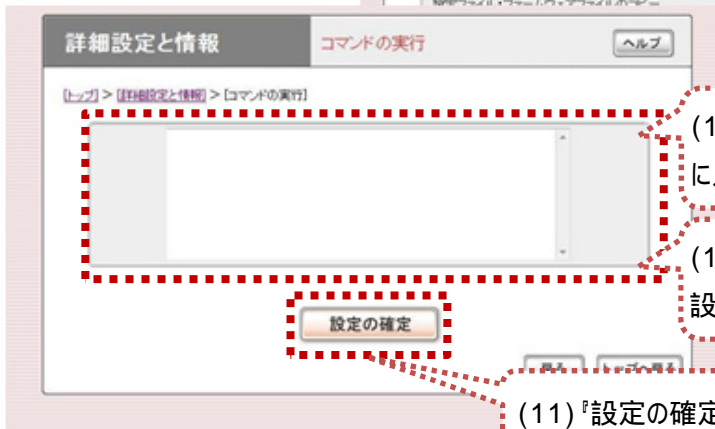
(8) 『詳細設定と情報』をクリック



下にスクロール



(9) 「コマンドの実行」欄の『実行』ボタンをクリック



(10) 特定のコマンドをテキストエリアに入力。(操作手順参照)

(12) バックアップ手順で取得した全設定をテキストエリアに入力。

(11) 『設定の確定』ボタンをクリック

(13) 『設定の確定』ボタンをクリック

#### 【操作手順】

- ( 1 ) トップページから、『詳細設定と情報』をクリックします。
- ( 2 ) 詳細設定と情報ページから、『お買い上げ頂いた時の状態へ戻す』欄の『実行』ボタンをクリックします。
- ( 3 ) 「お買い上げ頂いた時の状態へ戻す」画面が表示されるので、『実行』ボタンをクリックします。
- ( 4 ) 実行確認のメッセージが表示されるので、続けて『実行』ボタンをクリックします。  
ここで本装置が再起動されます。
- ( 5 ) LED の点滅確認し、起動後に本装置に接続したパソコンにて WEB ブラウザを立ち上げ、以下の URL ページに接続します。  
【URL】 <http://192.168.100.1>
- ( 6 ) ログイン認証画面が表示されますので、ユーザ名およびパスワードに何も入力せず、『OK』ボタンをクリックします。
- ( 7 ) OK をクリック後、設定画面のトップページが表示されます。
- ( 8 ) トップページから、『詳細設定と情報』をクリックします。
- ( 9 ) 詳細設定と情報ページから、『コマンドの実行』欄の『実行』ボタンをクリックします。
- ( 10 ) 「コマンドの実行」画面が表示されるので、以下のコマンドをテキストエリアに入力します。

```
no analog extension dial prefix line
no analog extension dial prefix sip
no analog supplementary-service pseudo
no dns private name
```

- ( 11 ) 全てのコマンドを入力後、『設定の確定』ボタンをクリックします。
- ( 12 ) 再度「コマンドの実行」画面が表示されるので、バックアップ手順で取得した全設定をテキストエリアに入力します。
- ( 13 ) 全てのコマンドを入力後、『設定の確定』ボタンをクリックします。

#### 【注意事項】

- ( 4 ) の再起動後に LAN 側 IP アドレスが変更になります。

...[192.168.100.1](http://192.168.100.1) ( 変更後 LAN 側 IP アドレス )

変更後 IP アドレスに合わせてパソコン側の IP アドレスも変更をお願いします。( DHCP を利用している場合は、ケーブル抜差しあるいは PC 再起動などで IP アドレス再取得をお願いします。 )